



工藤勝博県議会議員(写真右端)の発声で乾杯する出席者の皆さん

節目祝い一層の飛躍誓う

JA新いわて西部地域花卉生産部会40周年

JA新いわて西部地域花卉生産部会創立40周年記念大会は11月16日、新安比温泉静流閣で開催されました。大会では、高村敏彦部会長が「今後もリンドウ供給責任産地として他の追随を許さない産地を築くため、部会員一丸となり頑張りましょう」とあいさつしたほか、八幡勉副部会長がこれまでの経過を報告しました。大会に続いて祝賀会も開催され、リンドウ生産者や全国の生花市場関係者など約270人の出席者は、杯を交わしながら今後一層の飛躍を誓い合いました。

いきいき元気に熱唱熱演

八幡平市老人クラブ芸能発表会

市老人クラブ芸能発表会(市老人クラブ連合会主催)は11月18日、西根地区市民センターで開かれました。この発表会は、お年寄りの生きがいづくりと交流を深めるために行われているもので、今回で6回目になります。舞台では、そろいの衣装を身に付けた市内老人クラブの会員が日頃練習してきた自慢の歌や踊りなど36演目を披露。仲間の晴れ姿を楽しみに会場を訪れた約360人の観客から大きな拍手を受けていました。



間羽松老人クラブは踊り「祝い時雨」を披露



お遊戯「ガツガツ」を披露するあしる保育所の園児

楽しみながら地域に貢献

歳末たすけあいチャリティー芸能大会

歳末たすけあいチャリティー芸能大会(安代地区社会福祉推進協議会主催)は11月20日、安代地区体育館と田山小学校体育館の2会場ですれぞれ行われました。会場は、園児や小中学生のお遊戯や合唱、婦人会や地域の有志による民謡や舞踊、寸劇などで盛り上がったほか、みそ付けたんぼやそばなどのバザーが出店され、訪れた人たちの人気を集めました。来場者から寄せられた募金やバザーの売上金の一部は、歳末たすけあい運動などに活用されます。

森林資源を地域に生かす

民団連携森林共同施業団地協定書調印式

市と岩手北部森林管理署、浄安森林組合による「森林共同施業団地」協定書調印式は11月10日、市役所で行われました。同協定では、安代地区田沢地内の国有林約52%、市有林15%、浄安森林組合管理の民有林約13%の計約80%を森林共同施業団地に設定。平成26年度まで3者が協力して、効率的な作業路網の開設や計画的な森林整備に取り組み、低コストな森林経営を推進するもので、県内では初の協定締結になります。



協定書に調印後、握手を交わす(左から)田村正彦市長、野藤昌弘岩手北部森林管理署長、島山紘一浄安森林組合代表理事組合長

幻想的な調べ聴衆を魅了

シロ・エル・アリエーロさんコンサート

ニューヨークを拠点に世界的に活動する南米の民族音楽フォルクローレ奏者シロ・エル・アリエーロ(本名=大竹史朗)さんのコンサートは11月12日、アサンブレ・オクトホール(八幡平温泉郷)で開かれました。アリエーロさんは、金沢清水にまつわるアイヌ伝説をもとに作曲した「マトーコタンの物語〜泉に消えた恋」や岩手の美しさに魅せられて作った組曲「ナンブ」の「南部幻想曲」などを演奏。約120人の観客は、会場に広がるギターのリズムと歌声を堪能しました。



表情豊かにフォルクローレを演奏するシロ・エル・アリエーロさん

災害を機に改めて考える

八幡平市男女共同参画フォーラム

第5回市男女共同参画フォーラム(市男女共同参画ネットワーク主催)は11月13日、安代若者センターで、市民など約100人が参加して開催されました。基調講演で田野畑村教育委員会の工藤ヒロ氏が「災害復興にふみ出す私たちの第一歩」と題し、震災後の村の様子などを紹介。パネルディスカッションでは、田村正彦市長など5人のパネリストが、震災後のそれぞれの活動から、男女共同参画社会を見据えて、市を災害から守るためにできることなどが議論されました。



「災害・私たちが守る八幡平市」をテーマに、それぞれの立場から意見が交わされたパネルディスカッション

すなっぷギャラリー



「岩崎春雄さん(写真左)の指導で、稲束を注意深く脱穀機にかける児童たち」(11月17日、大更小5年生61人が脱穀体験)



「ハンガリー伝統打楽器の響きに酔う」(11月13日、フォレスト+で、斉藤浩ツインパロンコンサート)



「いらっしゃいませ、アイスは一つ100円です」(11月10日、奇木保育所でおまつりごっこ)



「時折小雨が降る中、一斉にスタートする参加者」(11月6日、市クロスカントリー大会兼市スポーツ少年団駅伝祭り)



「特別招待した沿岸の4チームに激励金が贈られました」(10月29日、西根ライオンズカップ争奪ミニバスケットボール大会)